

2023 年度「ひろしま NPO サポート倶楽部」応募用紙_様式 2

『2023 年度サポート倶楽部_特定非営利活動法人三段峡一太田川流域研究会』



幸せな人生を共有しよう！

「あきおおたの楽しい 100 人」

趣 旨 地域活性のために老若男女交流すべての人と、地域で頑張っている人や、地域に魅力を感じて人と
背 景 安芸太田町は、加計戸河内筒賀の 2 町 1 村が合併した町である。広島県内で一番人口が少なく少子高齢化が進んでいる。もっと町のみんなで力を合わせようと、2014 年から町内でファシリテーションの勉強会を行ってきた。そのメンバーが**地域の活性化には町全体での人との交流が大切**と考え「まずは人を知る」企画として「あきおおたの楽しい 100 人」をはじめた。

実施概要 あきおおたの楽しい 100 人は、北海道や広島で行われていた交流イベント「楽しい 100 人」の手法を引き継ぎ行なっている。登壇者 100 名を目指して、2 ヶ月に 1 回開催し、3 名が登壇し、**15 分で来場者に対して自身の活動や人生をプレゼンテーションする。**

準備～実施

企画

実施の 2 ヶ月前 登壇者 3 名と会場を決定する

ポイント

- ・登壇者 3 名は年齢と男女比を考慮して安芸太田町で活躍している方に依頼
- ・会場は旧町村を持ち回る
- ・パワーポイントが作れない人や、話したい内容が上手くまとまらない人にはスタッフがヒアリングをして発表をサポート

実施の 1 ヶ月前 町の広報にチラシを差し込み

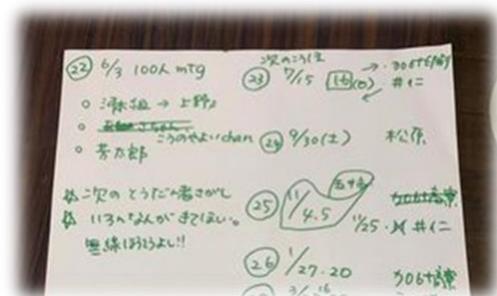


地元の協力施設の掲示板にて掲載

ポイント

- ・チラシの印刷代や会場費は参加費を充てて、継続的な運営を実現
- ・**町からの後援**を得て、町内の防災無線での放送や広報誌への差し込みを実施

☆1 回の企画でスタッフは話し合いを 2 回、登壇者との交渉、チラシ作成、チラシ差し込み、当日の運営を無償で行って



る。

2023 年度「ひろしま NPO サポート倶楽部」応募用紙_様式 2

最近の成果

- 第 21 回 2023.3.11 筒賀 社会福祉協議会
- 第 22 回 2023.6.3 戸河内 三段峡ビジターセンターLOUPE
- 第 23 回 2023.7.17 加計 加計高校寮「黎明館」
- 第 24 回 2023.12.9 加計 加計高校寮「黎明館」

※コロナ禍の中断も余儀なくされたが、2018 年 10 月からはじめ 2023 年 12 月までに 24 回開催し、延 62 名が登壇している。

2023 年度実績 : 登壇者 18 名、参加者 313 名

※参加費は 500 円でスタッフよりお茶やお菓子をサービスしている



●登壇者について

各地区の高校生から 70 代後半の男女が幅広く登壇している。過去には町長、町会議員、地域おこし協力隊、移住者、自主活動をされている人・子育て中のお母さんなどの発表があった。地域の方からの推薦や登壇者からの紹介されたかたを候補にしている。

⇒登壇者の反応

- ・最初は消極的だった方も登壇後は笑顔になり、とても**自信が溢れて満足**されている。
- ・24 回実施し、町内の知名度が向上し、**登壇したことが誇り**につながっている。
- ・自身の発表が新しい決意につながり、やる気がアップした。

●参加者について

子供から 90 歳以上まで町内外幅広い参加者がある。

⇒参加者の反応

・登壇後には、参加者全員からもマイクを回し自己紹介と感想を決まった時間内で話してもらっている。初めの頃は、人前でマイクを持って話すことに慣れておらず戸惑っている方が多かったが、回を重ねるうちに自信を持って話される方が増えてきた。

・参加者の方が、**登壇者の方の知らない一面を知ることができ、刺激を受けて、やる気がもらった、元気になった**などの声が多い。

・チラシを町報に入れることで、実際に会場へ足を運ばない人にも情報が広がり、登壇者の方が声をかけられる機会が増えており、話のきっかけ作りになっている。



●期待したい広がりについて

「楽しい 100 人」札幌市や広島市などの大きな都市で実施されてきた。人口が 6,000 人を下回る小さな自治体での開催は本当に継続できるかなど不安もあった。しかし、新型コロナウイルス感染症などの困難もあったが 6 年間継続してきた。この仕組みはどのような市町でも実施できると実証できた。「ひろしま NPO サポートクラブ」へのエントリーをきっかけに、他の市町の方にも知って頂き、「楽しい 100 人」を利用してもらいたい。**地域の仲間を知れば地域が元気になり、活性化につながる**と確信しています。